

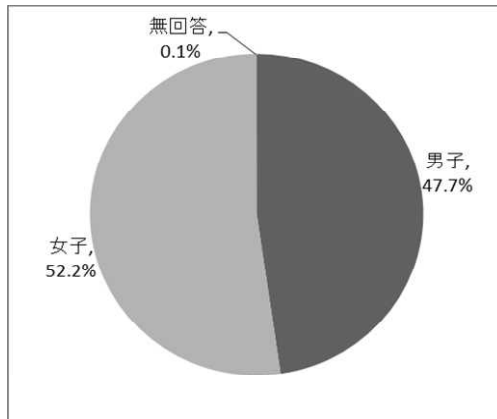
## 徳島県に関する県内高校生アンケート

1. 調査対象 県立高等学校に在学する高校生

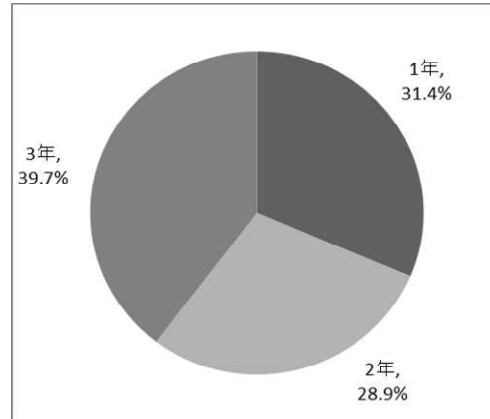
2. 調査数 1,436人

3. 調査対象の構成

(1)性別

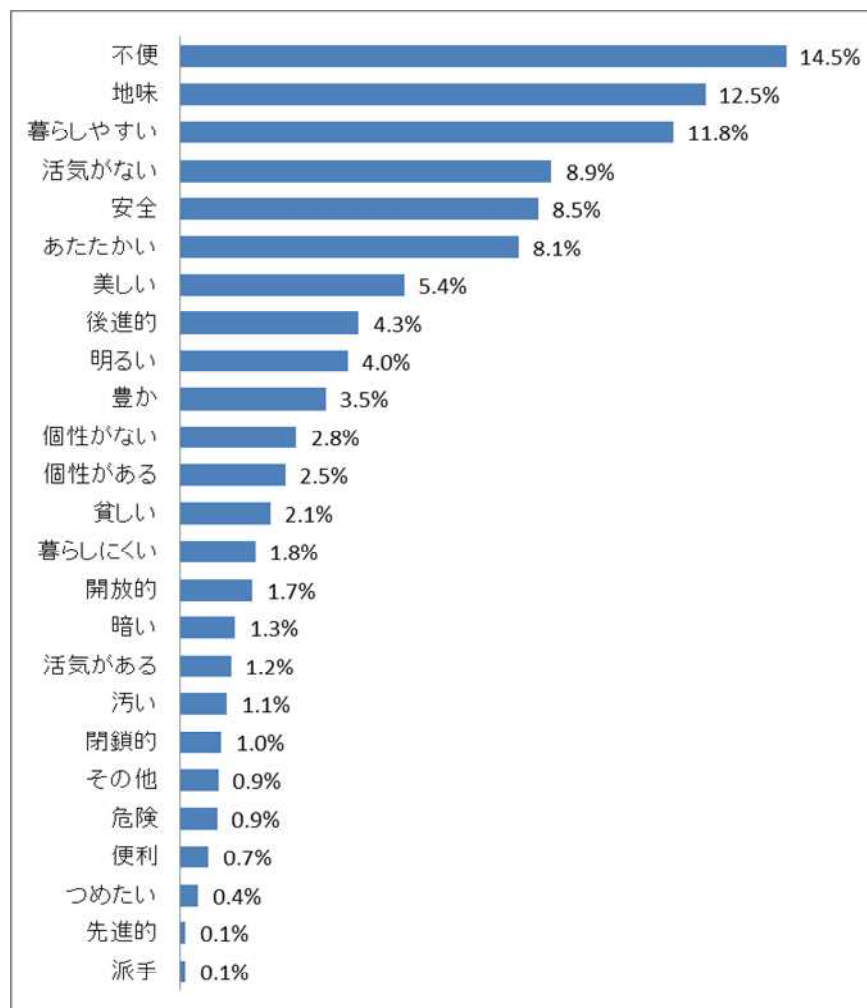


(2)学年

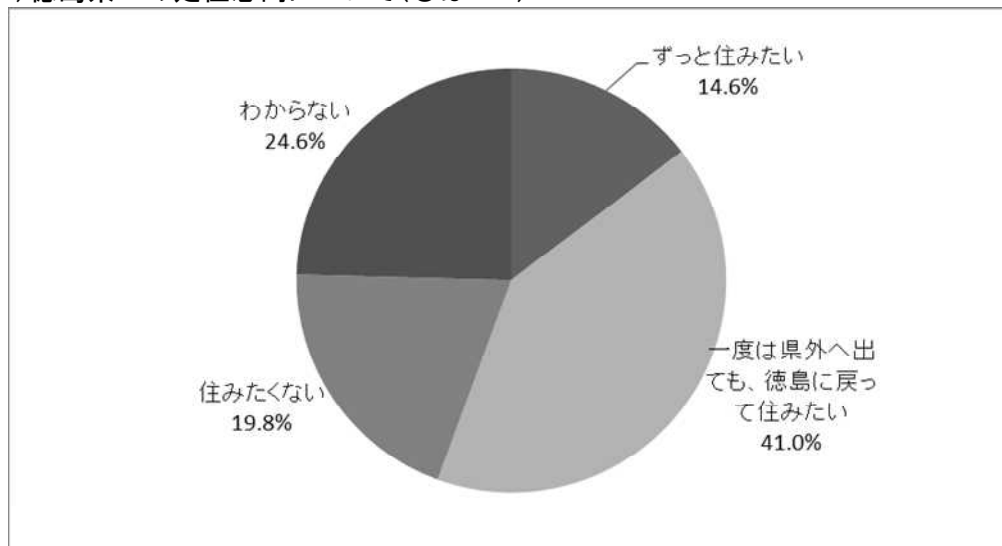


4. 調査結果

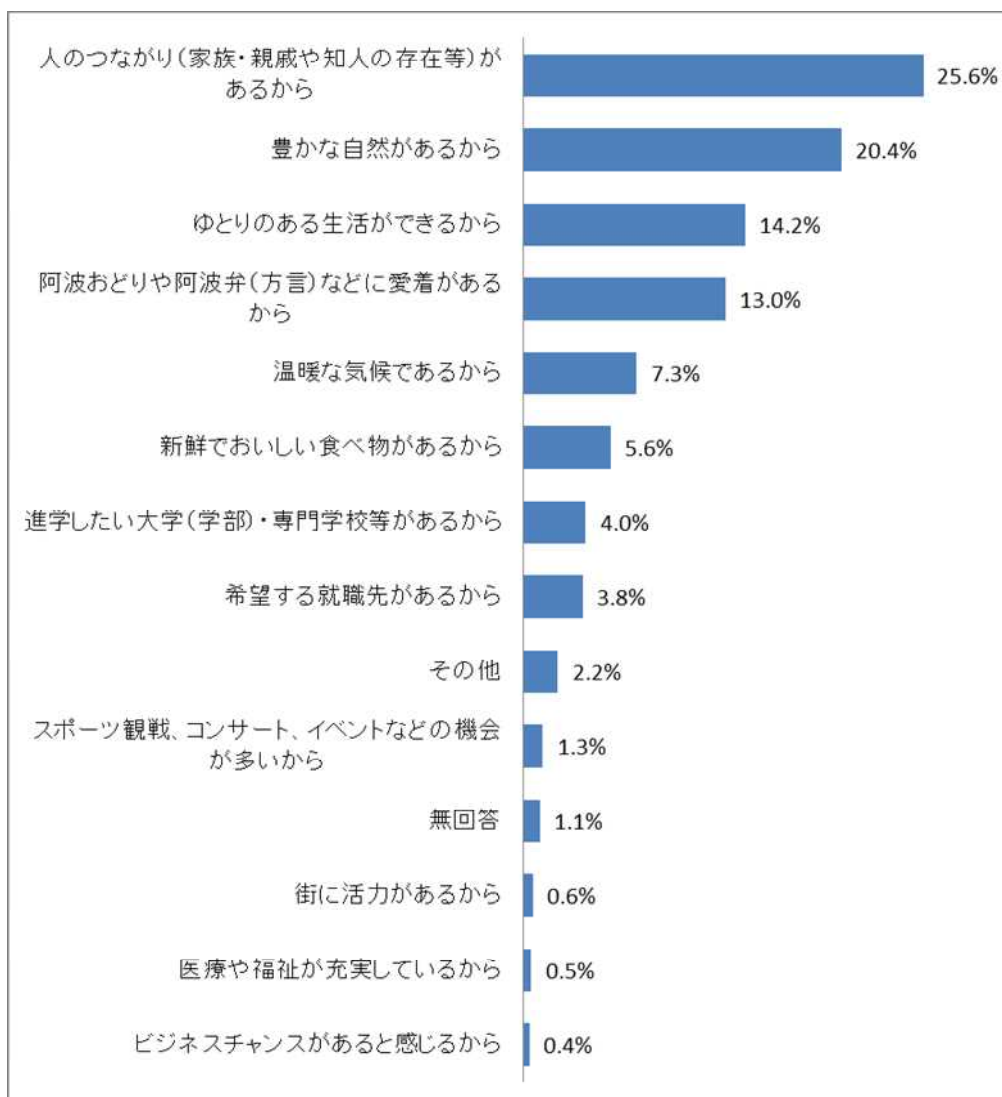
(1)徳島県のイメージについて(○は3つ)



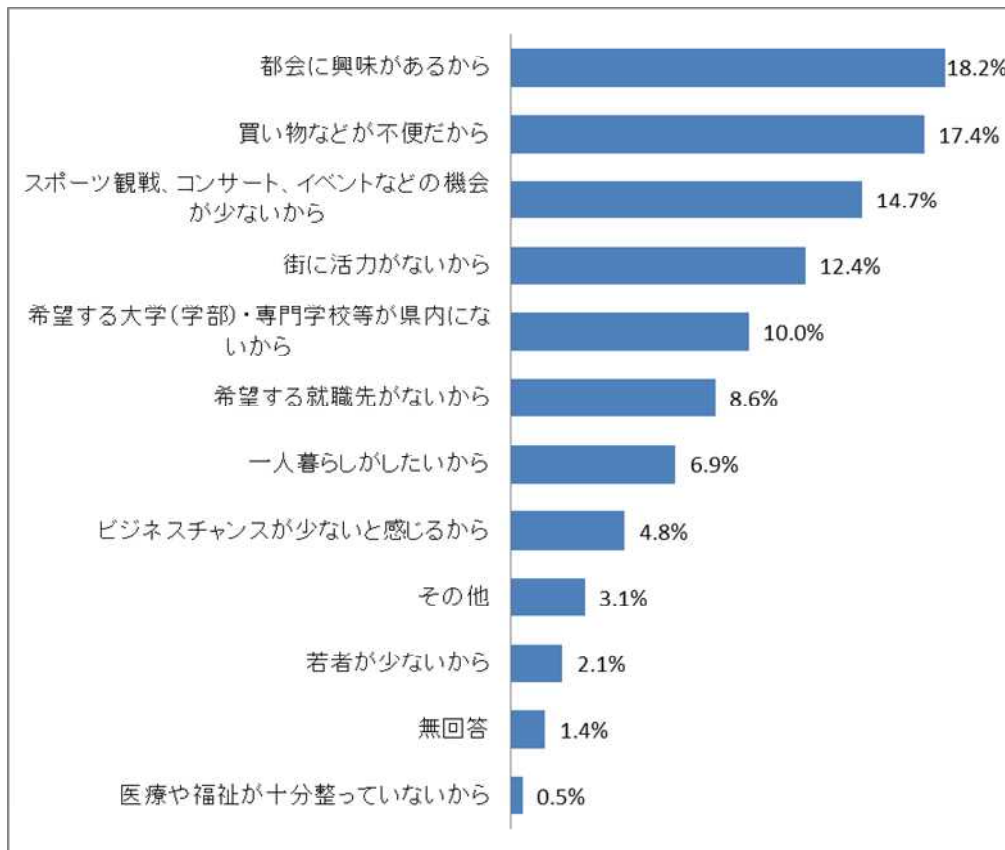
(2) 徳島県への定住志向について(○は1つ)



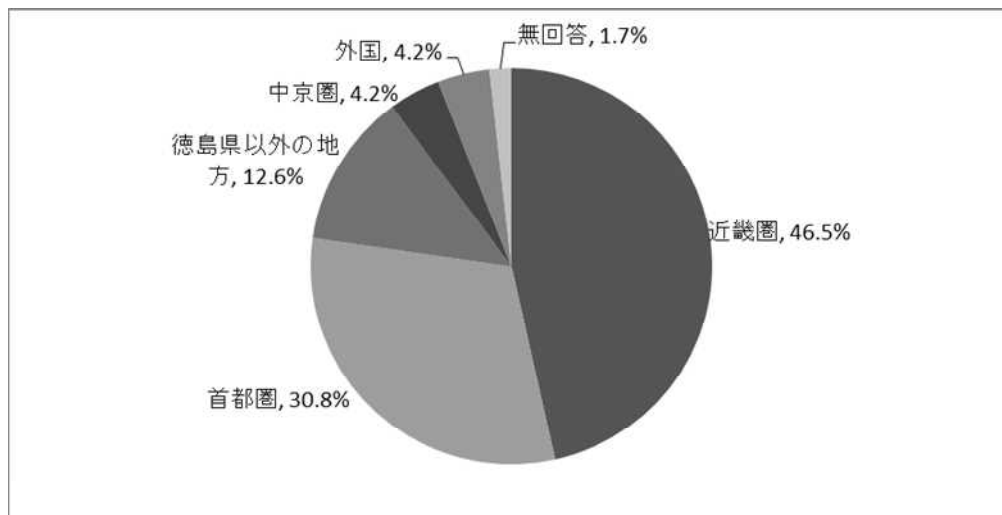
(3) 徳島県に定住したい理由について(○は3つ)



(4) 徳島県に定住したくない理由について(○は3つ)



(5) 徳島県に定住したくない場合に希望する居住地について(○は1つ)

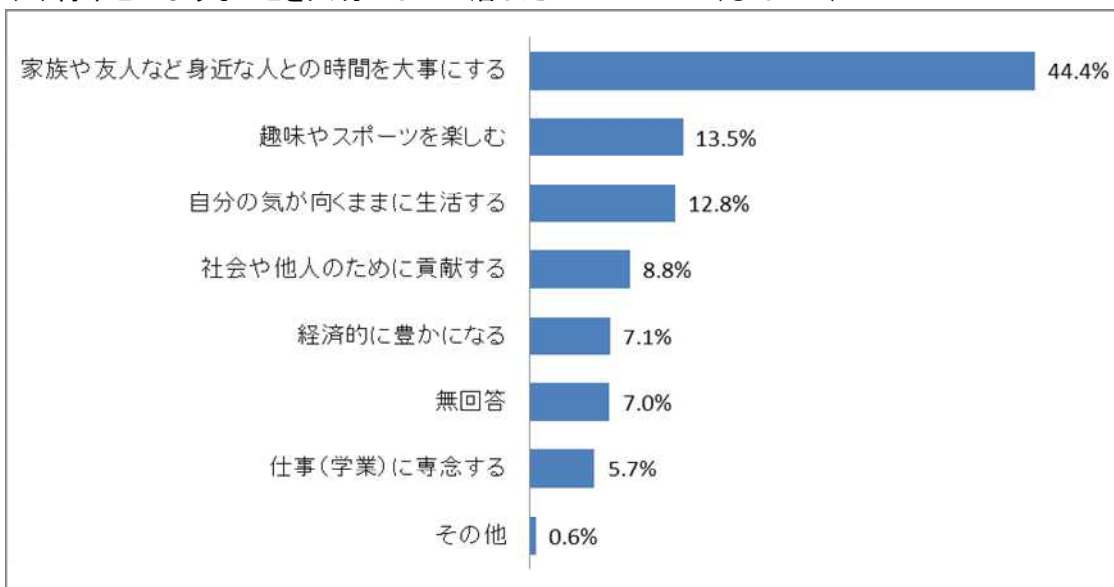


(6) 徳島県に定住したくない場合に徳島県がどう変われば住みたいと思うかについて(自由筆記)

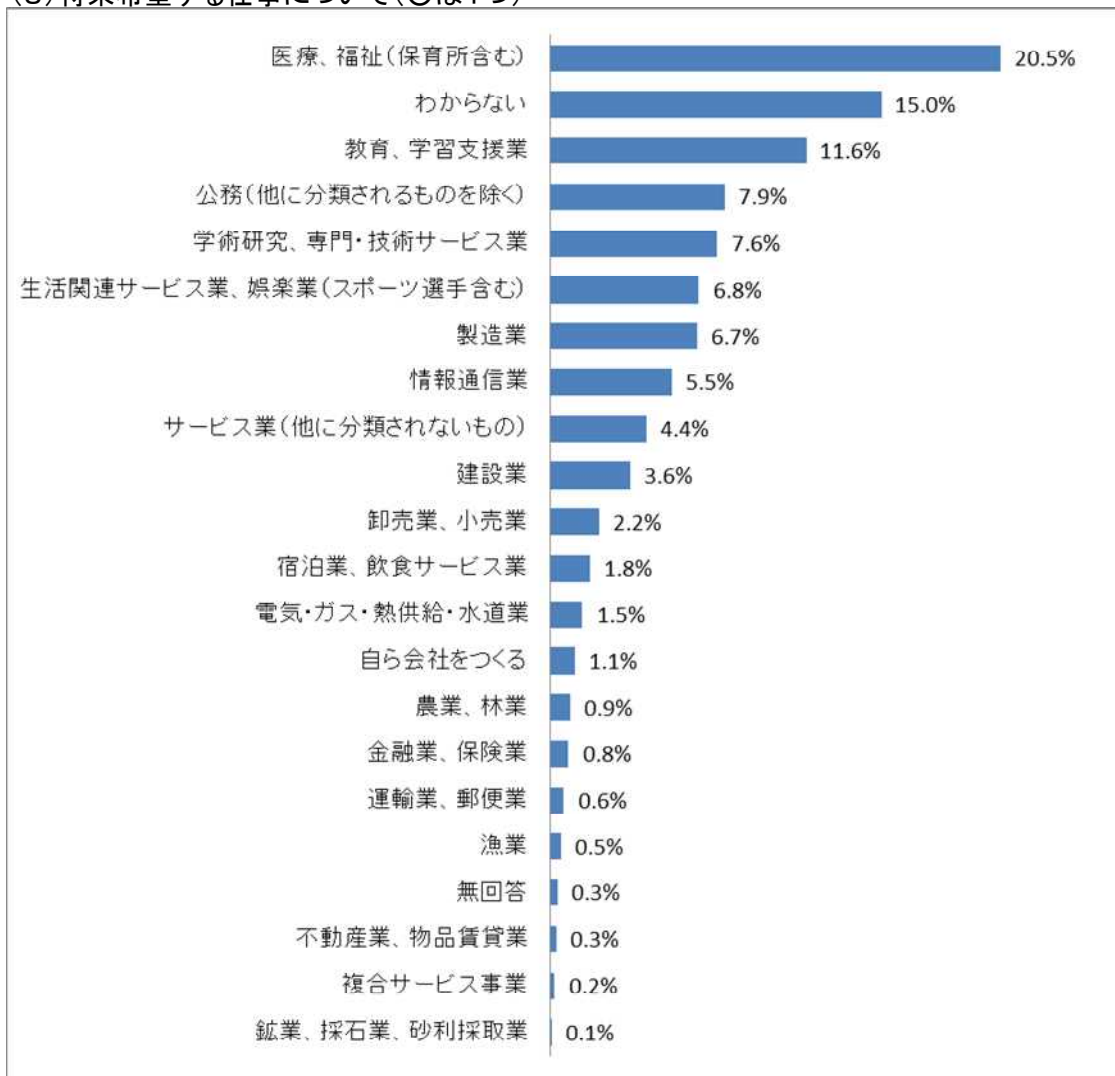
(主な意見)

- ・地域が若者の力で活性化されて、閉鎖的であったとしても暖かい雰囲気のある県になったら住みたいと思う。
- ・バスや汽車を1時間に1本とかではなくもっと増やして欲しい。遊ぶ所や買い物する所を増やして欲しい。
- ・電車が通り、駅周辺が活気にあふれたら住みたい。充実したコンサートホール(キャパが広い)ができれば住みたい。
- ・街に活力があり、若者が目標をもって明るく働けるようなところ。遊びに行ける場所(ショッピングモールなどの施設)がある。
- ・個人的に「アニメの街」というのは気に入っているので、マチアソビをもっと取り上げてもらいたい。1つのことに特化した県になって欲しい。

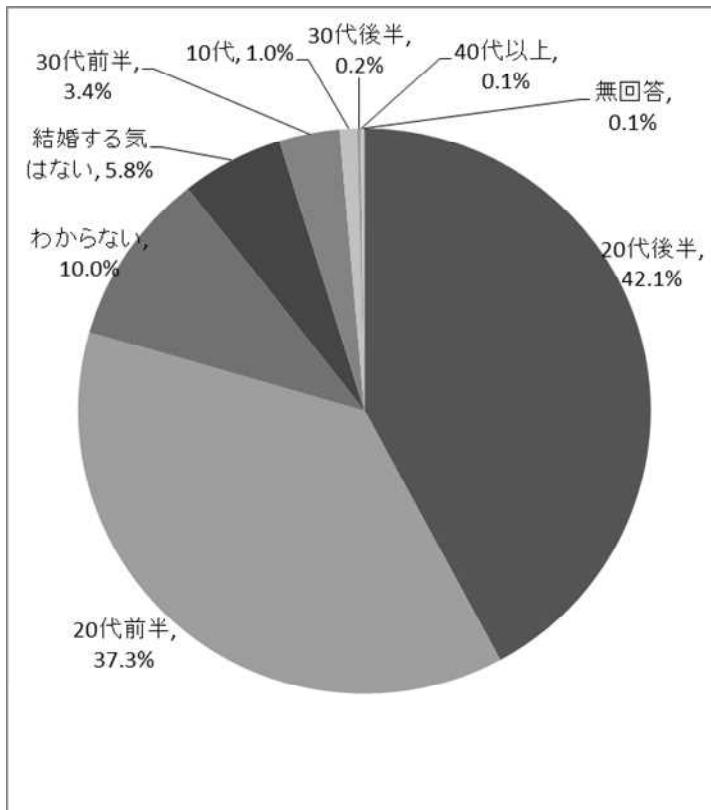
(7) 将来どのようなことを大切にして生活したいかについて(○は1つ)



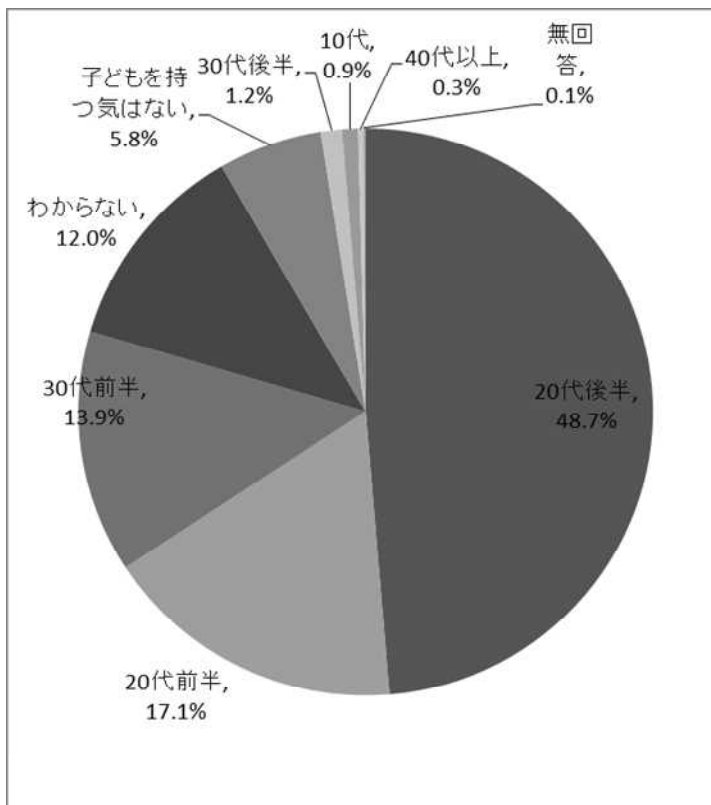
(8) 将来希望する仕事について(○は1つ)



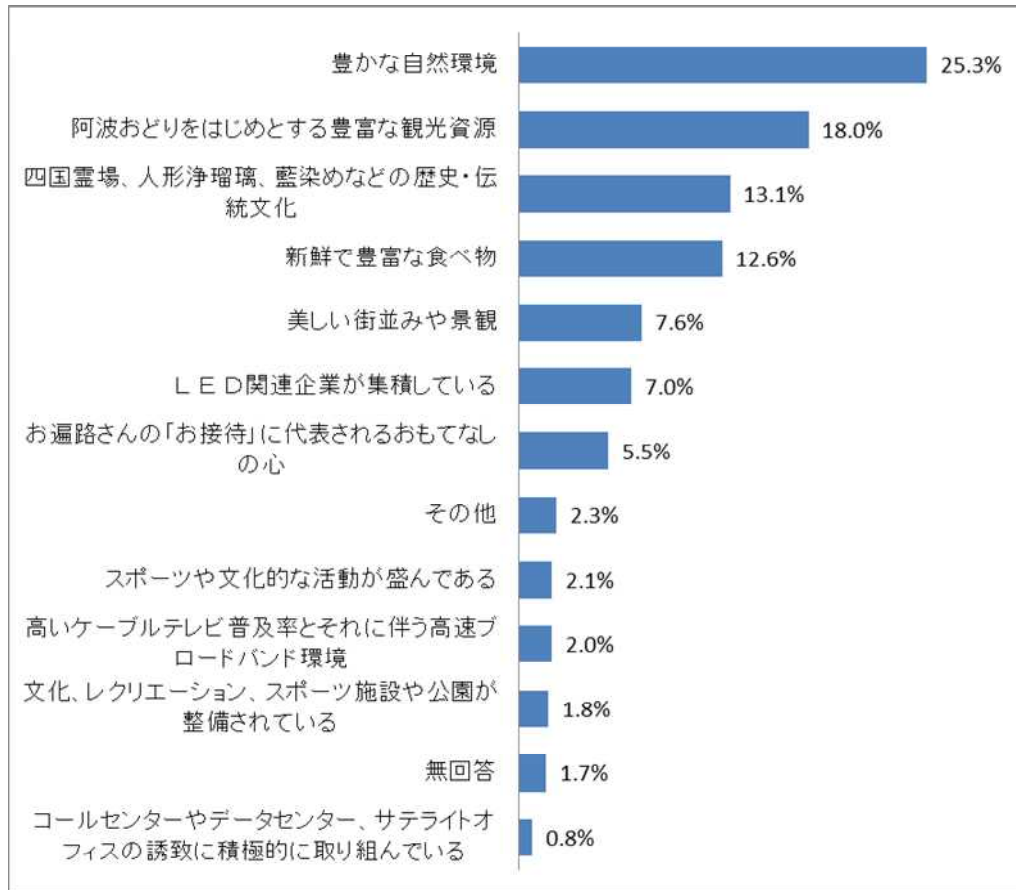
(9) 結婚したい時期について(○は1つ)



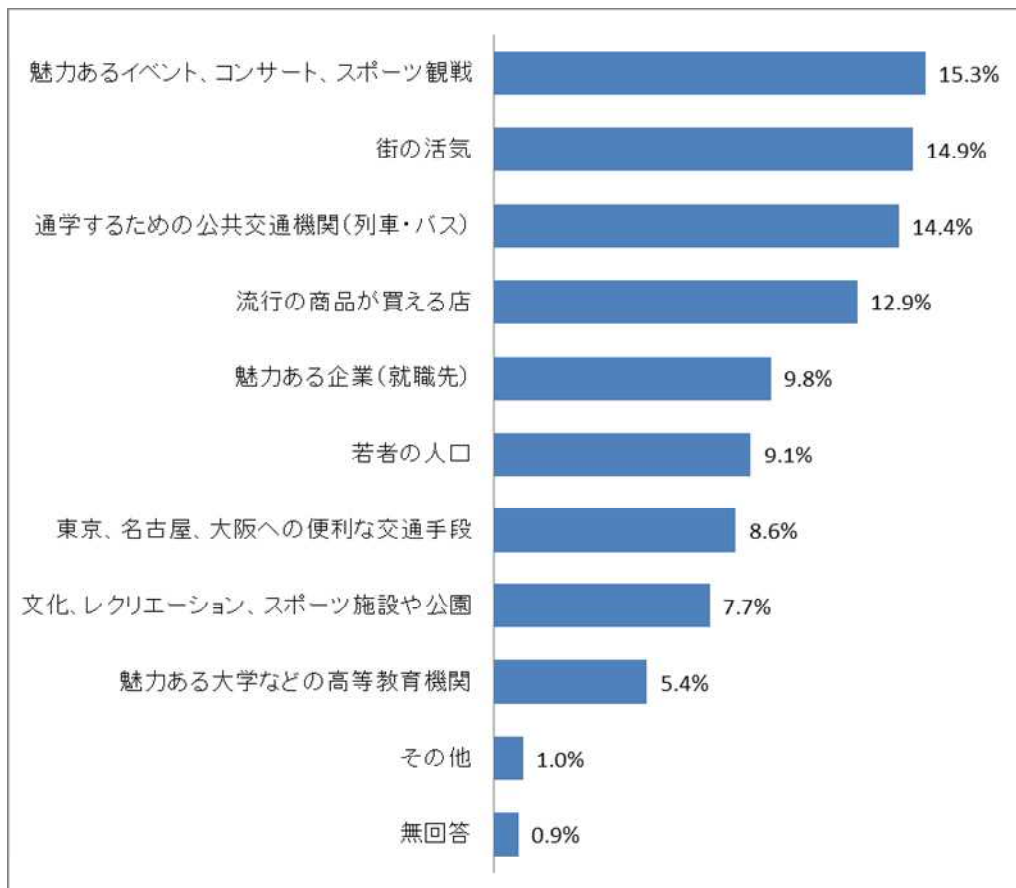
(10) 子どもを持ちたい時期について(○は1つ)



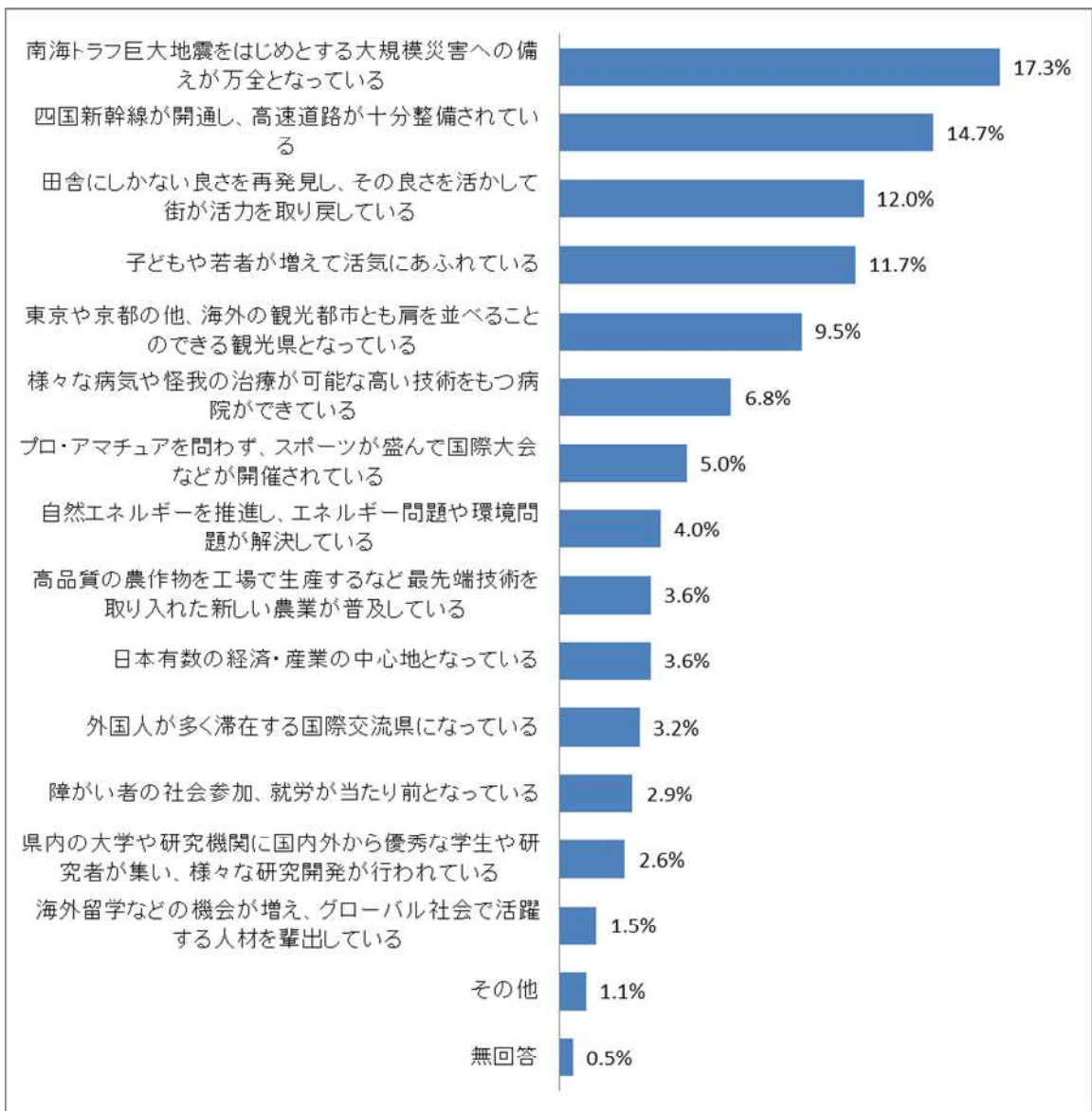
(11) 徳島県の魅力について(○は3つ)



(12) 徳島県に足りないものについて(○は3つ)



(13)2050年頃に希望する徳島像について(〇は3つ)





- (14) 前の問いで選んだことが実現されるために、徳島県、学校、企業、そして県民のそれぞれが今後10年の間にどのようなことに取り組んでいけばよいと思うかについて。  
(自由筆記)

(主な意見)

1. 四国新幹線が開通し、高速道路が十分整備されている。
  - ・LEDなどを作る中小企業が盛んな徳島なら、新幹線や高速道路の整備などにもっと力を入れることが出来ると思う。
  - ・車でしか移動できない、通学したいのにできない、そういう不便なところを国や県にわかしてもらおう。
2. 東京や京都の他、海外の観光都市とも肩を並べることのできる観光県となっている。
  - ・阿波踊りや藍染めなどのすばらしい文化があるので、県民それぞれ学校などがそれを絶やさずに活性化させるために尽力し、県や企業はその支援をするべき。
  - ・祖谷のかずら橋や鳴門の渦潮を世界遺産にできるようにする。
3. 外国人が多く滞在する国際交流県になっている。
  - ・国際的なイベントで若者が外国人と交流出来るような機会を作って欲しい。
  - ・学校などで交流する機会を増やし、徳島県の魅力を知ってもらおう。
4. プロ・アマチュアを問わず、スポーツが盛んで国際大会などが開催されている。
  - ・スポーツ施設の充実(体育館やストリートコート類)一つでもあればみんな集まって来る。もちろん無料で。
  - ・メジャーなスポーツはどここの県でも行っているの、少しマイナーだけれどもオリンピック競技であるといったスポーツの大会が出来るよう整備すれば良いと思う。
5. 日本有数の経済・産業の中心地となっている。
  - ・産業を活性化させ他県とも手を組み連携して物作りをする。
  - ・徳島県の産業や工業を生かし、新しい技術を取り入れて新たなものを生かす。
6. 高品質の農作物を工場生産するなど最先端技術を取り入れた新しい農業が普及している。
  - ・第一次産業の後継者不足の解消。農業をしたい若者への進学、就職ルートの整備。
  - ・農家にもっと支援金を出す(県)。食の大切さを子供にしっかり分からせ、学力を付ける(学校)。地域特色に合った機械などを造る(企業)。食に対する意識を持つ、地産地消を率先する(県民)。
7. 県内の大学や研究機関に国内外から優秀な学生や研究者が集い、様々な研究開発が行われている。
  - ・糖尿病のスペシャリストになれば他県からも人が来るはず。
  - ・徳島大学が中四国で1番の大学となるよう大学入学後の教育を強化し、他県の学生がより魅力を感じるような大学にする。
8. 様々な病気や怪我の治療が可能な高い技術をもつ病院ができています。
  - ・医療に興味を持つ子どもを育て、高齢社会に伴う医療技術の重大さや倫理なども意識させていくこと。
  - ・研究者としての医師、薬剤師、心理士などを育成する。個人も正しい知識を身につけていく。テレビを信じすぎない。
9. 南海トラフ巨大地震をはじめとする大規模災害への備えが万全となっている。
  - ・県民が巨大地震について理解を深められるように様々な機会を利用して正確な情報を伝える。
  - ・徳島はケーブル普及率がとても高いので、大規模災害への関心を促す放送を行えたらいいと思う。
10. 自然エネルギーを推進し、エネルギー問題や環境問題が解決している。
  - ・自分だけでなく全体の利益を追求する。子供たちに正しい教育を。自分の意思をしっかり持つ。
  - ・マイクロ水力発電や太陽光発電など発電機を小型化・地域密着型にする。小学生から高校生をはじめいろいろな人に講義し、人力発電などを用いたエネルギーの重要性やコストなどエネルギーに対する関心を高めてもらう。

11. 障がい者の社会参加、就労が当たり前となっている。

- ・障がい者の気持ちになり、誰もが普通に暮らせる街づくりをする。
- ・障がい者の社会参加を当たり前とした企業などをつくっていく。

12. 海外留学などの機会が増え、グローバル社会で活躍する人材を輩出している。

- ・将来に対する視野が広がると思うので、外国との交流の機会を学生に与えて欲しい。
- ・幼少期から全ての県民が世界を体感してそれが可能となる。県も活動したり、他機関に働きかける。

13. 子どもや若者が増えて活気にあふれている。

- ・各企業が育児や子育てに協力する形の制度を作る。男の人でも育休が取れる、子育て施設の充実などの徹底する。
- ・他県からの就職率を増やすため、他県よりも高い雇用率を維持する。

14. 田舎にしかない良さを再発見し、その良さを活かして街が活力を取り戻している。

- ・落ち着いた雰囲気は田舎にしかないし、美しい自然も田舎の魅力です。そういうのを汚さない。ごみをポイ捨てしたりしない。
- ・県が勝手にアピールするだけでは空回り。地域住民が自分たちの地域を十分に愛する上で成り立ったアピールのやり方を県が引き出すべき。